

## 指定都市市長会・中核市市長会・全国施行時特例市市長会 連携担当市長会議 議事概要

日 時：令和元年 10 月 17 日（金）14 時 30 分～15 時

場 所：都市センターホテル 7 階 701 会議室

出席者：指定都市市長会	横浜市長	林 文子
中核市市長会	豊田市長	太田 稔彦
	尼崎市長	稲村 和美
全国施行時特例市市長会	一宮市副市長	福井 齊

### 1 開会

### 2 挨拶

中核市市長会会長 太田 稔彦 豊田市長

### 3 議題

(1) 人口減少社会を克服する活力ある地域社会の実現に向けた共同提言（案）

(2) 令和 2 年度以降の連携事業について

（事務局から資料説明）

#### <意見交換>

横浜市：共同提言案について賛成するが、2 項目について説明させていただく。まず「外国人との共生に向けた取組の推進」について、国内の外国人人口は増加傾向にあり、今年 1 月時点で 266 万人になっている。また、指定都市においては 69 万人（26%）が居住している。指定都市市長会では今年 1 月に新たな外国人材の受け入れなどについてプロジェクトを設置し、8 月には国への提言を行った。国において外国人との共生実現に向けた基本法を新たに制定するなど、国と地方が一体となって地域の実情にあった取組を行うようにしないといけない。2 点目は、「文化芸術立国の実現」について文化芸術施策に関する令和元年度の国の予算は 1,200 億円で、フランス 4,800 億円、ドイツ 2,200 億円、韓国 2,800 億円と比較しても予算額が少ない。国は平成 30 年には文化芸術推進計画を策定し、方針を定めているにも関わらず予算をみると一向に進んでいないと感じる。指定都市市長会では平成 30 年 4 月に文化芸術・教育部会を設置し、文化芸術の振興について議論をしている。

尼崎市：共同提言案については、取りまとめ市ということもあり、意見はありませんが、

中核市においては、児童相談所の動向が大きなテーマになっている。地域の多様性に着目した取り組みを国においては実施していただきたい。

一宮市：共同提言案については、賛成であるが、さきほど尼崎市において発言があったように児童相談所に関することについて話をさせていただく。職員の経験が重視される業務になることから都道府県と協力できるような体制を構築する必要があると考えている。

豊田市：共同提言案について賛成しておるが、項目 9 について一部補足で説明させていただく。気候変動に伴うなどの予算を国において計上すべきと考えている。

**【共同提言について全市賛成のため決定】**

(2) 令和 2 年度以降の連携事業について

(事務局から資料説明)

<意見交換>

**【特になし】**

事務局：要請活動について連絡

以 上